

新潟空港・仙台空港に国際線定期便が再就航しました！ (1月17日、18日)

17日にタイガーエア台湾が新潟と台湾を結ぶ路線を就航し、新型コロナウイルスの影響で運休していた新潟空港の国際線がおよそ3年ぶりに再開しました。また翌18日には仙台空港でもエバー航空が2年10カ月ぶりとなる仙台=台北の定期便を再就航しました。両空港では歓迎式典が開催され、多くの方でにぎわいました。

東北の各空港でもインバウンドの需要を見込んだ動きが進んでおり、青森空港、福島空港でチャーター便が再開するなど、さらなるインバウンドの拡大が期待されます。東観推でもインバウンドの誘致にむけて様々な取組みを進めてまいります。



【仙台空港での式典】



【新潟空港での式典】

ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に「盛岡市」が選ばれました！

アメリカのニューヨーク・タイムズ紙が選ぶ「2023年に行くべき52カ所」に、岩手県盛岡市がロンドンに次いで2番目に紹介されました。「東京から新幹線で短時間で行ける距離」「混雑を避け歩いて楽しめる美しい場所」「中心市街地に川や自然、歴史的な建物があり、まちを歩いて楽しめる」「わんこそばのほか書店やジャズ喫茶などの文化が根づくまち」等が評価され、海外からの注目が集まっています。東北各地で国際線の再開も続き、インバウンドの来訪が期待されます。東観推でも“TOHOKU”をさらにPR出来るよう取り組んでまいります。



【展望台から臨む盛岡市】

在日の中国旅行会社・インフルエンサーを招請しました

●旅行会社招請（1月11日～14日）

在日のOTAとランドオペレーター4社4名を招請し、「東北の有力なスキーリゾートや周辺観光地、食などを組み合わせて東北の魅力を堪能できる効率的なコース」をテーマに、青森県・秋田県・岩手県を視察しました。田沢湖レイクリゾート（秋田県）では県内7事業者との商談会を行い、今後の取引に有効な情報交換を活発に行いました。冬の東北を感じる雪景色の「鶴の湯」のような唯一無二のコンテンツや、東北ならではの冬のグルメなどの評価が特に高く、今後の商品造成に向け具体的なイメージが出来たようです。今後も継続して情報発信をしてまいります。

※OTA：Online Travel Agent（オンライントラベルエージェント）

●熟練層インフルエンサー招請（1月18日～22日）

在日のインフルエンサー2名を招請し「スキー熟練層への訴求」をテーマに、青森県・秋田県・岩手県を視察しました。天候に恵まれ、八甲田山・阿仁・田沢湖・夏油の全てのスキー場を良いコンディションで視察できました。東北の良い点は、「スキー場と併せて温泉・日本料理が楽しめる」とのことです。また、秋田犬の里ではNHK秋田支社の取材を受け、視察している様子がニュースで放映されました。参加者は招請中から動画や写真をSNS上に投稿くださり、動画は計100万回以上再生されるなど多くの反応があり、今後の情報発信にも非常に期待が持てます。

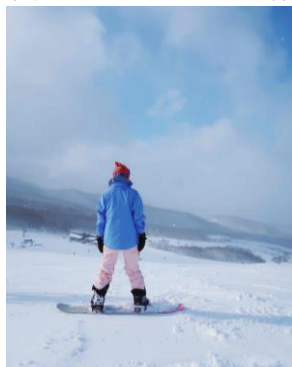
●家族旅行層インフルエンサー招請（1月25日～29日）

在日のインフルエンサー2名を招請し「スノーリゾート東北と冬の東北の魅力」をテーマに、岩手県・秋田県・青森県を視察しました。安比高原スキー場（岩手県）ではスノーシューツアー、たざわ湖スキー場（秋田県）ではラフティングボート、森吉山阿仁スキー場（秋田県）では樹氷鑑賞を体験しました。視察先では秋田犬の里や阿仁合駅、三内丸山遺跡、ワ・ラッセなど、文化的なコンテンツが高く評価されました。

今後、スノーリゾートという東北最大の魅力が、食や温泉に加え、ストーリー性のある他のコンテンツと合わせて発信されることが期待できます。



【奥入瀬溪流でのスノーシュー体験】



【たざわ湖スキー場】



【安比高原でのスノーシューツアー】

在日の韓国旅行会社を招請しました（1月11日～14日）

韓国現地の旅行会社3社3名を招請し「アウトドア＋食文化・産業観光」をテーマに、秋田県・岩手県・宮城県・山形県を視察しました。スノートレッキング体験をはじめ、アウトドアコンテンツはいずれも評価が高く、特に森吉山阿仁スキー場（秋田県）での樹氷鑑賞や安比高原（岩手県）でのスノーシュー体験が好評でした。樹氷の美しさ、スキー場のクオリティ、登山する山としての魅力が高く評価され、参加者の好反応から今後のツアー造成に期待が持てます。

韓国においては、普段からスキーやキャンプなどのアウトドアコンテンツに触れる機会が多く、海外旅行においてもアウトドア要素を取り入れたいという要望が高いとのこと。青森空港から大韓航空が、また3月には仙台空港からアジアナ航空のチャーター便が予定されるなど、東北～韓国間の往来の活性化が見込めます。今後も韓国に向けたプロモーションを一層推進してまいります。



【森吉山阿仁スキー場でのスノートレッキング体験】

タイ現地から旅行会社を招請しました（1月23日～27日）

「栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会」との連携により、東北のスノーコンテンツを様々な角度から視察することをテーマに、タイ現地から旅行会社3社3名を招請し、栃木・福島・山形・宮城の視察を実施しました。

東京～栃木～南東北というルートはタイの団体旅行における定番の一つであることから、より具体的なツアー造成をイメージでき、既存のツアーとの組み合わせを意識した視察を実施することができた点が好評でした。また、タイには無い雪のコンテンツへの注目度が高く、視察した「松原キャンプ場」「山形蔵王の樹氷」「どんでん平スノーパーク」などは、すぐにでもツアーに組み込みたいと絶賛していました。

今後も、各県と連携を行いながら広域での視察を実施し東北の魅力を伝えるとともに、今回構築した旅行会社との関係性を維持してまいります。



【山形蔵王の樹氷見学】

イギリス現地から旅行会社を招請しました（1月22日～26日）

イギリス現地の旅行会社1社1名を招請し、富裕層向け「新たなデスティネーション」をテーマに、福島県・山形県・秋田県・福島県を視察しました。全宿泊施設、食事場所共にお客さまへためらいなくお勧めできるところだと高評価をいただきました。

視察全体を通して「文化の伝承、存続について職人や地元の方々の想いや情熱に触れる」というコンテンツの人气が共通して高く、特に会津藩校日新館での茶道、弓道体験が高く評価されました。また「日新館に宿泊し坐禅体験も加え侍体験をじっくりできるパッケージを是非作って欲しい」との意見もいただきました。

東北を「新たなデスティネーション」として多くの旅行商品の造成に繋げるため、知名度向上・誘客促進を引続き実施してまいります。



【会津藩校日新館での弓道体験】

在日の豪州メディア・インフルエンサーを招請しました（1月27日～31日）

豪州のウィンタースポーツ愛好者が関心を示す冬の東北の広域観光をPRするため、在日メディア・インフルエンサー4名を招請し、スキー場やアフタースキーコンテンツを中心に福島県・山形県・秋田県を周遊しました。

近年外国人スキー愛好家の間で日本の良質な粉雪は、「JAPOW（ジャパウ）」（JAPAN+POWDER）と呼ばれており、アルツ磐梯スキー場（福島県）や、たざわ湖スキー場（秋田県）ではこのJAPOWを実感していただけました。冬の東北の魅力を十分PRできたほか、喜多方ラーメンや米沢牛などの地元の食が好評で、大変満足したとの声が多く、食でも東北の魅力を感じていただけました。

豪州からの訪日誘客については、冬の東北へのインバウンドにおける大きな柱でもあり、今後も引き続き強く冬の東北の魅力を発信してまいります。



【大好評の日本の“食”（天童温泉）】

TOHOKU Fan Club「友達紹介ポイント倍増&宿泊券プレゼントキャンペーン」実施中！！（2月13日～3月17日まで）

東観推では、ますます多くのファンの方々に「観光の力で東北を元気に！」する活動を応援してもらうために、会員サイト「TOHOKU Fan Club」の「友達紹介機能」を利用して、すでに会員登録されたファンの方とこれから会員登録していただくファンの方を対象にしたキャンペーンを実施しています。ぜひご参加ください！



1. キャンペーン名称

「友達紹介ポイント倍増&宿泊券プレゼントキャンペーン」

2. キャンペーン期間

2023年2月13日（月）～3月17日（金）

3. キャンペーン内容

（1）「友達紹介ポイント倍増キャンペーン」

「TOHOKU Fan Club」の「友達紹介」で貯まるポイントが期間中2倍になります。

TOHOKU Fan Clubの
新規会員登録は、こちら
のQRコードから →



対象者	キャンペーン内容
紹介したファン	・紹介ポイントとして、紹介人数×100ポイントをプレゼント（通常50ポイント） ・さらに、期間中に一番紹介人数が多かったファンにはボーナスポイントとして10,000ポイントをプレゼント
紹介されたファン （紹介コードを入力して登録した新規会員）	・入会ポイントとして、200ポイントをプレゼント（通常100ポイント）

（2）「宿泊券プレゼントキャンペーン」

抽選で合計7組14名様に、東北の各エリアの魅力を1泊2日で満喫するペア宿泊券をプレゼントします。ご希望の宿泊先は会員サイト内の応募アンケートから回答してください。対象者は友達紹介をした既存会員と、キャンペーン期間中に新規登録した会員（紹介有無問わず）です。

【「宿泊券プレゼントキャンペーン」宿泊先一覧】

①青森県 浅虫温泉

ホテル秋田屋

新鮮な魚介類を始めとする料理と眺めの良い展望風呂を楽しめる宿



②岩手県 八幡平温泉郷

八幡平ハイツ

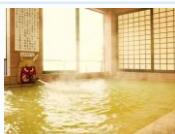
星もしあわせも降る森天然温泉癒しの湯と料理自慢の宿



③秋田県 秋田男鹿温泉郷

元湯雄山閣

なまはげの口からお湯がブシャー！源泉噴き流し『なまはげの湯』



④宮城県 松島

ホテル松島大観荘

高台から眺める日本三景・松島のロケーションは絶景この上なし。



⑤山形県 蔵王温泉

名湯リゾート ルーセントタカミヤ

蔵王の中心で蔵王を遊びつくす温泉宿！蔵王温泉を多彩な湯舟で♪



⑥福島県 会津東山温泉

原瀧

2022年リニューアル客室！絶景川床が人気、滝ビュー露天も。



⑦新潟県 月岡温泉

東栄館

2023年3月リニューアルオープン！月岡温泉、源泉100%！



●TOHOKU Fan Clubを活用してみませんか？

TOHOKU Fan Clubでは、会員に地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけが効果的に実施できます。東北観光推進機構の正会員・賛助会員は、特典として無料でトライアル利用できます。詳しくは、東観推DX戦略部までお気軽にお問い合わせください！

【ご連絡先】DX戦略部 E-mail kikaku@tohokutourism.jp

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では各種SNSを活用して日本国内及び海外に向けて観光情報を発信しています。

英語版Facebook・Instagram、ムスリム版Facebookでは、スキー場や、冬のまつりを中心に東北各地の冬の風景について数多く発信しました。

その中でも、三陸鉄道こたつ列車と津軽鉄道ストーブ列車の投稿については、この季節にしか楽しむことのできないコンテンツだということもあり、非常に多くの方から反応がありました。

ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選出されるなど、東北が世界中から注目されているこの機会を逸せず、国内外に向けた情報をより一層発信してまいりますので、ぜひフォローをお願いします！



【三陸鉄道こたつ列車】

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【たざわ湖スキー場】



【蔵王温泉スキー場】



【大崎八幡宮どんと祭】

第3回行政観光戦略会議を開催しました（1月23日）

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆さまと、「2023年度事業計画（案）」「各県市の2023年度事業計画」などについての意見交換を行いました。これからも訪日プロモーションやDMP等の事業連携の強化に向けた広域の施策取組みを進めるとともに、大阪万博等の観光施策に関わる情報の共有を行ってまいります。

第2回 東北教育旅行担当者会議（オンライン）を開催しました（1月25日）



東北6県、新潟県、仙台市の教育旅行担当者とオンライン会議を開催しました。本年度、東観推が各県市と協力して実施した「東北への教育旅行誘致事業」について報告するとともに、次年度の計画（案）を発表し、各県市と調整しながら計画を進めることについて話し合いました。また、「農山漁村体験」や「スキー・スノボ修旅」、インバウンドの再開で今後期待される「訪日教育旅行」についても意見を交わしました。今後も「東北まなび旅HP」への掲載、学校関係者や旅行会社へのPRなど、オール東北で教育旅行誘致を進めてまいります。

紺野理事長が講演を行いました（1月19日、27日）

●宮城創生DMO・TIFS設立記念観光リカレント特別セミナー（1月19日）

仙台市のTKPガーデンシティ仙台において「東北広域による観光DXの推進」と題し、紺野理事長が講演を行いました。東観推の活動について紹介し、持続可能な東北観光実現のための柱であるデジタルマーケティングや、東北観光DMP、東観推の設立した「TOHOKU Fan Club」のCRMシステムを活用した事業例、「Base! TOHOKU」などの取組みについて話しました。



【TKPガーデンシティ仙台にて】

●仙台・未来創造フォーラム（1月27日）

東京駅前のKITTEにて「東北の魅力と今後の可能性について」と題し、紺野理事長が講演を行いました。郡仙台市長のプレゼンテーションの後、紺野理事長から仙台をベースにした東北観光や、四季を通じた仙台の魅力などについて話しました。その後東北大学大野総長の基調講演と続き、仙台商工会議所の藤崎会頭も加わったパネルディスカッションでは、東北観光DMPについて具体的な可視化イメージとともに説明し、大きな反響がありました。シンポジウム終了後もたくさんの質問をうけるなど、大変手ごたえのあるものとなりました。



【東京丸の内のKITTEにて】

第七期フェニックス塾 第7回塾を開催しました（1月27日）

今年度第7回目となる東観推の観光人材育成の取組み「フェニックス塾」を青森市で開催し、28名の塾生が参加しました。

【第一部】セミナー

①「観光地域づくりによるブランディングと活性化」

あおもり創生パートナーズ株式会社 専務取締役 高坂幹様

②「東北観光DMPからみえること」

一般社団法人東北観光推進機構 DX戦略部統括マネージャー 武澤秀一

【第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「東北（TOHOKU）を国内外から選ばれる観光地にするには」のテーマに対して、グループで最終の議論が交わされ、提言をブラッシュアップし、プレゼンに向けての準備を進めました。

6月にスタートし、東北6県+新潟県をまわって開催してきた第七期フェニックス塾も、いよいよ次回は修了発表会を迎えます。



【セミナーの様子】



【塾生によるワークショップ】

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください

多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

【利用時間】24時間365日対応

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0381/381_101_file.pdf?m=1668071166



「旅東北NEWS」VOL.053 2023年2月14日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！